

目 的

排砂時の水位低下速度を変更することにより、SSピークを低減する方法を検討するものである。

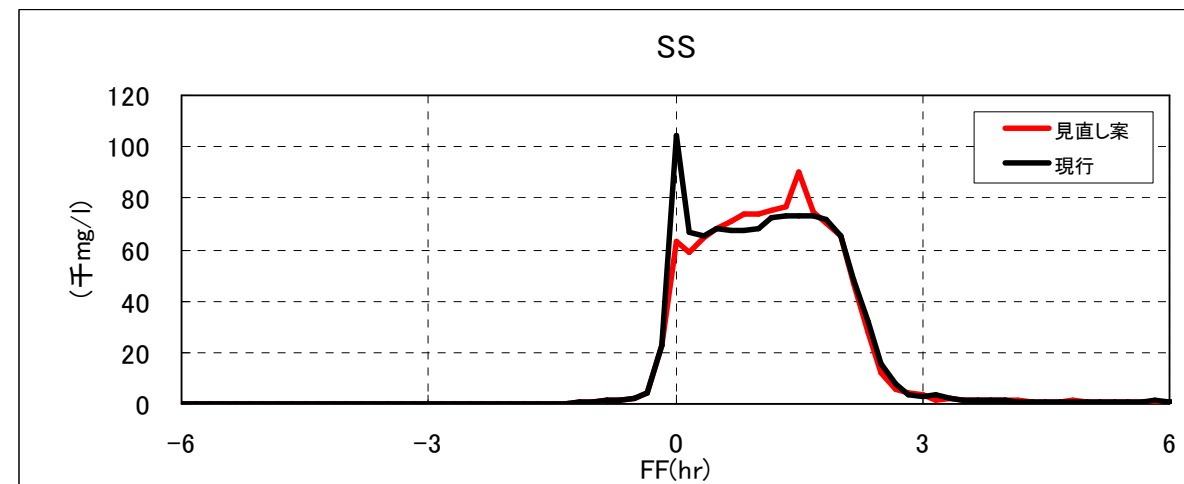
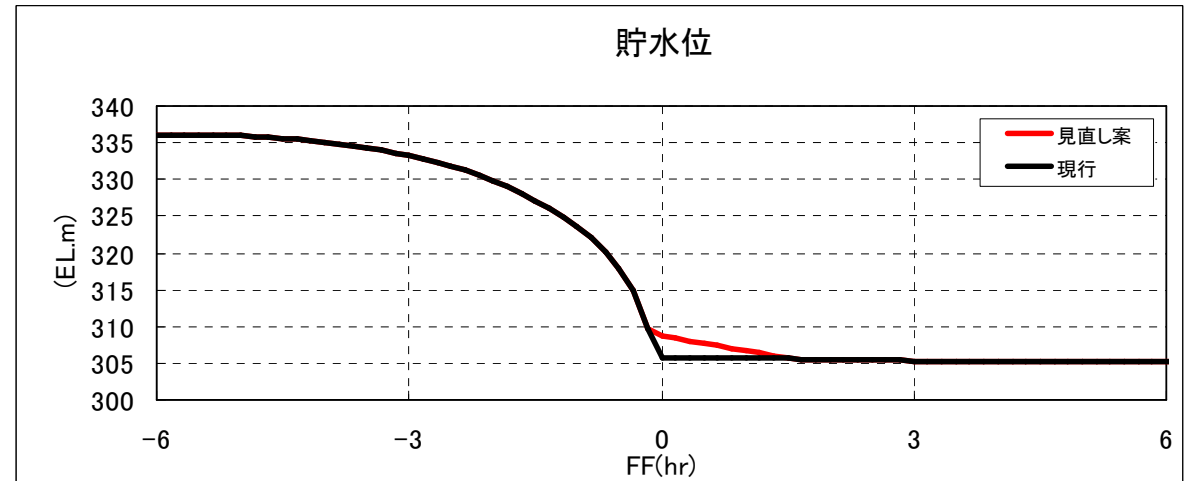
(計算例－出し平ダム)

【貯水と水位低下速度】

ケース	水位低下速度 (m/h)	SSピーク (千mg/l)
現行	14.0程度 (EL.320m以下)	105 (100%)
見直し案	2.0程度 (EL.310m以下)	90 (86%)
差分	—	(▲14%)

(計算条件)

- ①対象：平成25年排砂予測モデル
- ②河床：平成25年5月河床(排砂前)
- ③流量：洪水波形モデル



自然流下開始直前から水位低下速度を抑制することにより、SSピーク値を抑制することが可能であると考えられる。